

第6部

経済・産業

第1章 経済成長率・県内総生産

- 92 経済成長率
- 93 県内総生産(名目・実質)
- 94 1人当たり県(国)民所得
- 95 1人当たり県(国)民所得の構成割合
- 96 県民雇用者報酬と県内・県外比率

第2章 事業所・従業者数

- 97 産業別事業所数
- 98 産業別従業者数
- 99 工場・研究所の立地件数
- 100 事業所数と従業者数
- 102 産業別(1次・2次・3次)就業者数

第3章 労働

- 104 男女・年齢別就業率
- 105 高等学校卒業者の県内就職率
- 106 県外就業率
- 108 就業地別有効求人倍率
- 109 外国人労働者数、外国人を雇用する事業所数
- 110 労働時間(事業所規模5人以上)
- 111 賃金(事業所規模5人以上)
- 112 パートタイム労働者比率(事業所規模5人以上)

第4章 工業

- 113 製造業の従業者規模別事業所数、従業者数、製造品出荷額等(全事業所)
- 114 製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移
- 116 製造業の産業中分類別事業所数、従業者数(全事業所)
- 117 産業中分類別製造品出荷額等(全事業所)

- 118 1事業所当たり製造品出荷額等(全事業所)
- 119 従業者1人当たり製造品出荷額等(全事業所)
- 120 品目別出荷額等の全国シェア(全事業所)
- 121 従業者1人当たりの付加価値額(全事業所)

第5章 商業

- 122 商業(卸・小売業別)事業所数、従業者数、年間商品販売額の割合
- 124 県民1人当たり年間商品販売額(小売業)
- 125 事業所数、従業者数、年間商品販売額(小売業)
- 126 産業小分類別の年間商品販売額
- 128 事業所数、従業者数、年間商品販売額(卸売業)

第6章 観光

- 129 観光客数
- 130 観光消費額
- 131 年間宿泊者数
- 132 月別宿泊者数
- 133 外国人訪問客数
- 134 外国人宿泊者数
- 135 旅館・ホテル客室数
- 136 国際会議開催件数

第7章 農業・水産・畜産業

- 137 農家数
- 138 認定農業者数
- 139 耕地面積
- 140 荒廃農地面積
- 141 農業産出額
- 142 主要家畜飼育頭羽数
- 143 協定直売所「地の味 土の香」
- 144 県内養殖生産額と総漁獲量

第8章 林業

- 145 森林面積及び森林蓄積
- 146 市町村別森林面積
- 147 主要部門別素材生産量
- 148 間伐面積



森林面積及び森林蓄積

森林面積は県総面積の76.9%



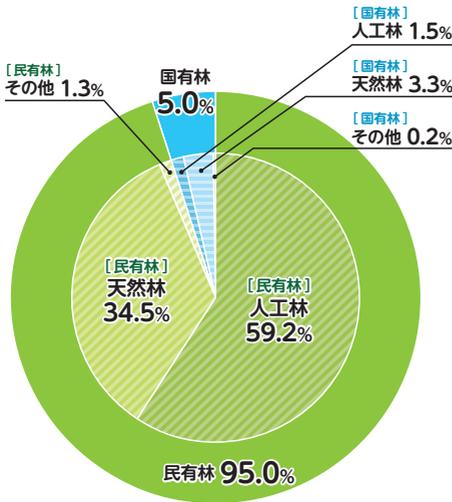
2024(R6)年4月1日現在の県の森林面積は、28万4千haで、県総面積の76.9%を占め、その95.0%が民有林、5.0%が国有林となっています。また、森林蓄積は、8,322万m³で、その96.6%を民有林が占め、3.4%が国有林となっています。

森林面積のうち民有林と国有林を合わせてみると、人工林が60.7%、天然林が37.8%を占めています。また、森林蓄積は人工林が78.5%、天然林が21.5%を占めています。

●森林蓄積…森林を構成する木の体積。

森林面積 (2024(R6)年4月1日現在)

資料：県森林環境課



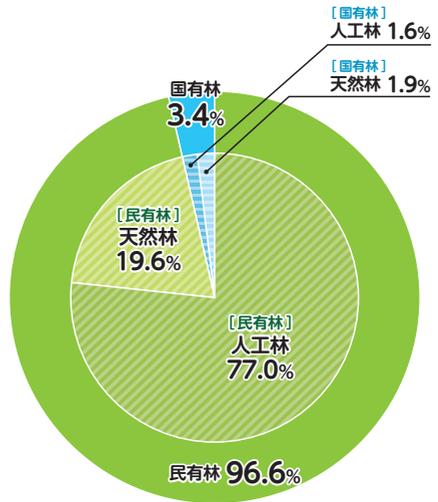
森林面積

28万4千ha

県総面積の76.9%

森林蓄積 (2024(R6)年4月1日現在)

資料：県森林環境課



森林蓄積

8,322万m³



市町村別森林面積

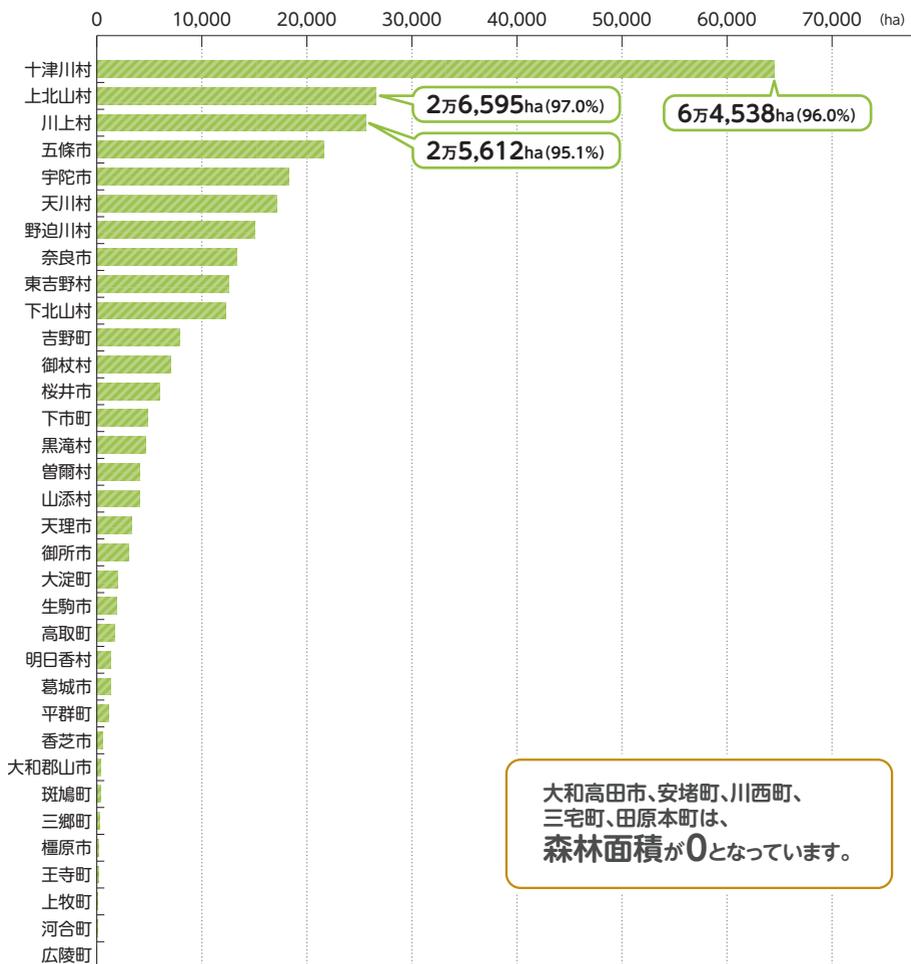
森林面積の最大は十津川村 面積ゼロは5市町



森林面積の1位は十津川村6万4,538ha(村面積に占める割合96.0%)、2位は上北山村2万6,595ha(同97.0%)、3位は川上村2万5,612ha(同95.1%)です。

市町村別森林面積(2024(R6)年4月1日現在)

資料: 県森林環境課



大和高田市、安堵町、川西町、三宅町、田原本町は、森林面積が0となっています。



主要部門別素材生産量

素材生産量は17万³



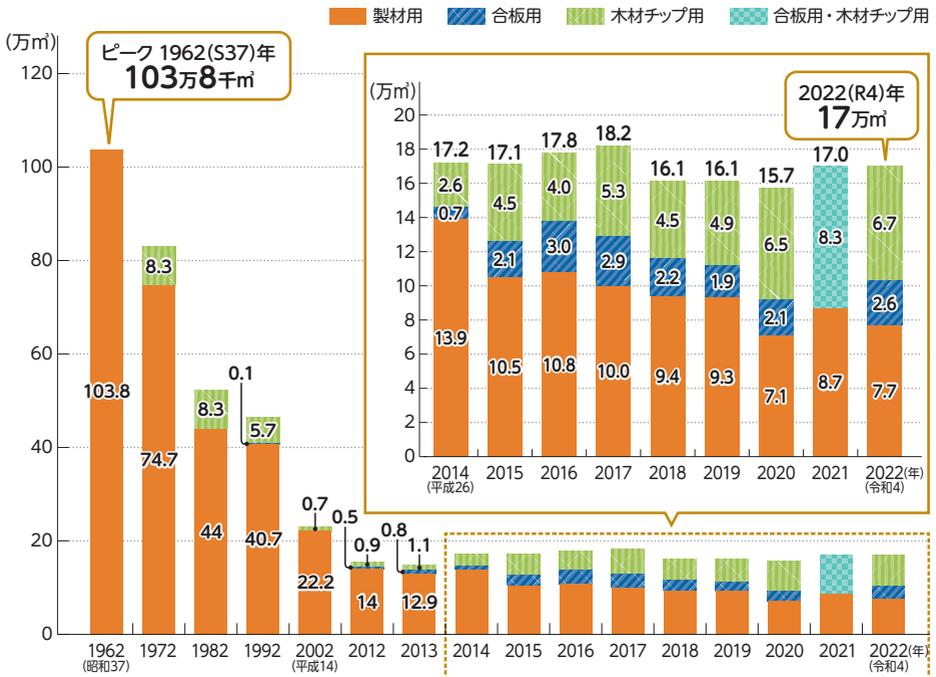
素材生産量は、1962(S37)年では103万8千³でしたが、2022(R4)年は17万³で約6分の1になっています。

近年の素材生産量について、2013(H25)年から2017(H29)年までは増加傾向にありましたが、2018(H30)年に減少し、以降はおおむね横ばいになっています。素材生産量の主なものは製材用で、2022(R4)年では7万7千³で全体の45.3%を占めています。素材生産量を2013(H25)年と比較すると、製材用は12万9千³から7万7千³と減少傾向にあります。一方で合板用と木材チップ用の合計値は1万9千³から9万3千³と増加傾向にあり、およそ5倍となっています。

- **素 材**…山に生えている木を切って枝を切り払ったり、同じ長さになりそろえたりして丸太にしたもの。
- **製 材**…素材(丸太)を鋸挽きした木材製品。主に柱や板など建築に用いられる。
- **木材チップ**…木材を切削または破碎した小片。主に紙および木質ボードの原料や燃料に用いられる。

主要部門別素材生産量の推移

資料：林野庁「木材統計」、県産材利用推進課



※ 製材用、合板用は県独自調査により木材統計調査の数値を補正。2015(H27)年以降、木材チップ用は県独自調査によりバイオマス用材の数値を含む。2021(R3)年については、林野庁「木材統計」において合板用と木材チップ用の数値が非公表のため、合計値のみ表示している。



間伐面積

間伐面積は、間伐材の生産活動が控えられたことにより減少



2023(R5)年度における間伐面積は2,179haとなっています。

間伐面積は、木材価格が前年度と比較して下がったことなどにより、利用間伐が控えられ、前年度に比べ170ha減少しました。

- 間伐**…育成段階にある森林において、樹木の混み具合に応じ育成する樹木の一部を伐採(間引き)し、残存木の成長を促進する作業。

間伐面積の推移

資料：県産産材利用推進課

